

平成 25 年度 第 1 回狩猟鳥獣のモニタリングのあり方検討会  
委員指摘事項と対応方針

平成 25 年 7 月 31 日 (水) 10:00 ~ 12:00 (一財) 自然環境研究センター 7 階 会議室

【議事 2】

ウズラのモニタリングに係る試行調査の結果について

川路	なぜこういう方法を用いたかの根拠を示すべき。
尾崎	最低でも 2 回とか 3 回、毎日でなくても一日おきとかに実施して、現状が分かった上でやらないと効果があるか不明。
羽澄	ヤマシギの選択的な環境を先に抽出しておいて、ポイントセンサスを割と長い時間、30 分とか 1 時間そこに滞在して、そのポイントを何カ所かを置くという考え方は駄目か。
三浦	これが密度に変換できるのか、いわゆるテリトリマッピングになるかどうかという問題。あと、そのために一定の再現性があるかどうか。
川路	札幌の森林総研の実験林では 4 月初旬にヤマシギが渡ってくる。適切な時期で集中的にやれるようにすべきでは。

ヤマシギについても実施する調査方法を裏付ける資料を収集してまとめておく。

【議事 2】

ヤマシギのモニタリングに係る試行調査の結果について

川路	今回、プレイバックの場所でルートセンサスやったわけではないので、ルートセンサスの有効性については判断できない。
----	---

【議事 3】

ウズラの繁殖期におけるモニタリング手法の提案 (マニュアル案)

川路	<p>EU 主導のマネジメントプランを参考にすべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雄のさえずりを流すというのは一言も書いていない。雄は黙っていても鳴く。</li> <li>・雌のさえずりを流すことによって、さえずらなかつた雄も反応すると書いてある。</li> <li>・より効果的に誘引するためには雌の鳴き声でやった方が良いのでは。</li> </ul> <p>川路委員より提供いただいた EU の文献に記載のある調査手法を参考として調査手法の見直しを行った。</p> <p>プレイバックの音源について、調査で使用したオスメスミックスの鳴き声を使用するようにマニュアルを変更した。</p>
----	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦畑でのモニタリングは、農家からの聞き取り等も可能ではないか。  <b>EUの文献に農家の方の協力による情報収集の記載があったが、この方法は、収穫機により追い払われたウズラを確認するものであるため、農家の方が作業と並行して実施することは容易ではないと考えられる。</b></li> </ul>
尾崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・200mという、プレイバックの距離間隔をどのくらいで取るかはよく検討した方がよい。</li> <li>・風上と風下ですごく届く距離が違うのでその問題がある。  <b>調査で使用する機器の性能や実施場所によって音声の到達距離が変化するため、設置間隔を200mとする記載は削除し、最大音声の届く距離を事前に調べ、その距離を基準とすべき旨をマニュアル案に記載。</b></li> <li>・繁殖妨害の可能性も記載すべき。  <b>調査を実施する際の注意事項としてマニュアル案に追記した。</b></li> </ul>
石井 橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰を対象にしたマニュアルで、実際どんな体制でモニタリングを行うのか。</li> <li>・標準調査地で個体数まで調べる精度の高い調査と、全国レベルでの簡便な調査という2段階が必要ではないか。</li> <li>・そもそも減少要因が不明瞭なので、それが何かがわかってくるようなきちんとした調査も何地点かでやってみるというのも必要。  <b>本マニュアルは生息地情報の蓄積に重点を置いた内容としており、行政機関及び関係団体等に幅広く情報提供し、活用していただくことを想定。どのようなモニタリング体制が効果的か等については、引き続き検討していきたい。調査の際、別途、生息していた場所の写真や草丈などの情報を取ることもマニュアル案に追記した。</b></li> </ul>
川路	<p>ルートセンサスだけでも十分モニタリング調査は可能(藤巻先生の調査)。精度の高い調査と簡便な調査というふうに体系的に調査体制ができれば良い。  <b>ルートセンサス調査についての記述をマニュアル案に追記した。</b></p>
尾崎	一義的には狩猟者がやるべきモニタリングだと思う。
橋	とりあえず確立されているルートセンサスだけでも一度やり始めてみるのが大事。
三浦	大陸で繁殖しているなら、ユーラシア全体の問題もあるのでは。